



初期消火で火災を防げ！ 消火活動に感謝「消火器贈呈式」

9月16日、八雲町消防本部にて（一社）北海道消防設備協会函館支部より、セイコーマート八雲落部支店へ消火器の贈呈式が行われました。この贈呈は、8月27日にセイコーマート八雲落部店駐車場にて発生した車両火災で、店に備え付けられていた消火器を使用し消火活動を行い、防火活動に貢献したことから実施されました。消防本部からは「大きな火災を防ぐためには、初期消火が大事。自分と周りの命を守るため、消火器を準備してほしい」と初期消火の重要性について説明がありました。



木の温もりを感じながら！ 木育の広場「木であそぼう！」

9月23日、シルバープラザにて八雲町地域教育力活性化推進協議会が主催となり、第2回「木育のひろば～木であそぼう！」を開催しました。町内外の林業に携わる「やまびこ会」や「山越郡森林組合」、林業関係団体等の協力により積み木やきぼうのプール、木工体験などが用意され、子ども達は元気いっぱい木とふれあいました。また、昼には八雲町風の子もちの餅つきを行いお餅、そうめんが振る舞われました。去年も遊びに来たという女の子は「去年、木の積み木をもらって、木は面白いと思った！今年も木のおもちゃや物が作れて楽しい！」と話してくれました。



地域の安全を守ろう！ 高齢者の安全対策に関する研修、 全国地域安全運動出動式

北海道警察と（公財）北海道民生委員児童委員連盟が「高齢者の安全対策に関する協定」を結んだことを受け、八雲町民生委員協議会は9月17日の第5回定例会にて、八雲警察署より犯罪被害防止・交通安全、緊急時対応など今後の警察と民生委員との情報提供、連携について研修を実施しました。

また、10月9日には全国地域安全運動出動式が八雲町役場で行われ、地域防犯パトロールに向かう浜茄子隊や警察パトロール隊に、町長は「挨拶、見守り、助け合いを実践することにより、地域の絆を強め、安全で安心な地域づくりに取り組みましょう」と激励の挨拶を送りました。



酪農畜産、公衆衛生を支え60年！ 八雲町獣医師会創立60周年を迎え

八雲町は、大正時代から先進的な酪農畜産に取り組み「北海道近代酪農発祥の地」と呼ばれ、現在では乳牛が1万頭、産出額57億円の「道南随一の酪農郷八雲町」となりました。9月26日、八雲町獣医師会60周年記念祝賀会が開催され、獣医師会会長は「この10年、平成22年に畜産業界に大きな被害を与えた口蹄疫、翌年の東日本大震災、また、周辺諸国で発生する高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫、その発生地域からの観光客の増加等、経済環境は変化し、家畜の感染リスクも増大している。「食の安全と安心」を守るため農業生産や公衆衛生の第一線で活動する獣医師会会員が地域の関係団体と更に連携を深め、八雲町の獣医畜産技術と公衆衛生の向上に繋げ、地域の発展に貢献していきたい」と挨拶しました。

